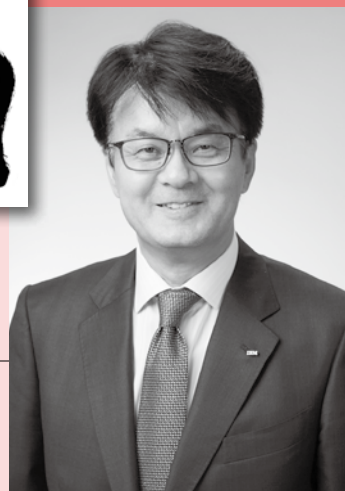


私の一文字



企業経営委員会 委員長
山口 明夫

日本アイ・ビー・エム
取締役社長執行役員

透明に、「誠実」に向き合う

会員の方が思いを込めて選んだ一字に、書家の岡西佑奈さんが命を吹き込む「私の一文字」。今回は、山口明夫企業経営委員会委員長にご登場いただきました。

岡西 「誠」の字は、へんの「言」は取手のある刃物と神様との誓いの文書、つくりの「成」は斧と釘を表し、何かを成し遂げるという意味があります。または、矛や飾りを作って浄めはらう意味もあるとされています。この字を選ばれた理由をお聞かせください。

山口 浄めはらう、煩惱を無くす、は選んだ意味合いに近いかもしれません。私は書道が好きで、高校時代、板に文字を書き彫刻刀で彫るという授業でも、今回選んだ「誠」や「我」という字を彫りました。

岡西 学生時代から思いのある字だったのですね。その後、大学は工学部に進学され、日本IBMではエンジニア出身の社長になられました。そのご経験は経営に対するお考えに影響していますか。

山口 少なからず影響していると思います。システムの安定稼働は社会使命ですが、想定外の緊急対応が必要なこともあります。そういった事態に備え、少しでも回避するため、お客さまには耳触りの良いことだけでなくリスクや懸念事項を共有する重要性を実感しています。勇気のいる、説明に時間を要することもありましたが、より高度な対応策ができ、結果として安定稼働につながりました。保身をせず、恐れずオープンに公平に、自分が何を考え、なぜそう

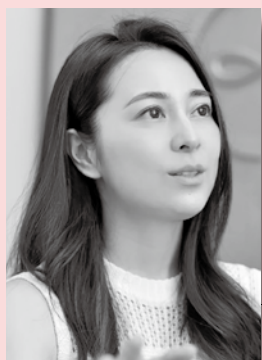
思ったのか透明性を持って誠実に話すことで初めて信頼関係が生まれ、仕事も楽しくなる。「誠」の字に「浄める」意味があるとのことですが、それは神様の前で「白」になる、「私は何ものにも染まる」という意味ですよ。色眼鏡をかけず、誠実に対応していきたいと思っています。

岡西 私自身、ありのままの自分であることを大事にしたいと思っているので、お話がとても心に刺さりました。透明性や誠実なコミュニケーションについては、日本企業にはまだまだ遅れもあると思います。どのような取り組みが必要でしょうか。

山口 多様性の推進でしょうか。他者の意見を受け入れる大切さと同時に、自分自身も等身大で接しないと受け入れてもらえないことを実感します。私自身、経済同友会でさまざまな企業の素晴らしい経営者の皆さまと話す機会が増え、日々多くを学んでいます。「こんな稚拙な意見でいいのか」と発言に気後れすることもあります。まずは一歩と考えチャレンジしています。

岡西 4月27日の総会をもって経済同友会の副代表幹事に就任されますが、抱負などは。

山口 時代の大変革のタイミングで、皆さまと一緒に経済同友会の活動ができることをうれしく思います。皆がスキルを向上し、切磋琢磨して人材価値を高める。今日より明日、明日より明後日へと成長できるよう、経済同友会でリカレント教育の仕組みがうまくできればいいなと思っています。また、予定調和でなく皆が率直に議論するオープンな文化を大切にしたい、それが「誠」とつながるのかと思います。



書家
岡西 佑奈

1985年3月生まれ。23歳で書家として活動を始め、国内外受賞歴多数。